

# すこやか便り 5月号

令和2年5月1日 文責：青砥 真由美

爽やかな風に、暖かい日差し。青空の下で元気に泳ぐこいのぼりを見ると、大人も子どもも晴れやかな気持ちになりますね。しかし、新型コロナウイルス感染症の状況が深刻化し、外出自粛が続き、室内で過ごすことが多くなっていると思います。北海道が「特定警戒都道府県」に位置づけられたことから、4月20日～5月6日まで発達支援センターを閉所しています。大変ご迷惑をお掛けしていますが、ご理解をお願いします。今後も感染拡大を防ぐため、「3つの密」を避けて、手洗いや咳エチケットに気を配り生活をしていきたいですね。

## 《 個別支援計画の説明について 》

個別支援計画の説明を5月中に実施します。担当療育者より、日程調整の連絡をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

## 《 発達検査・知能検査について 》

発達支援センターで「新版K式発達検査」と「WISC-IV知能検査」を実施しています。

**新版K式発達検査**：子どもの心身の発達の度合いを調べ、それを療育などの子どもの発達支援に役立てます。主に乳幼児の発達状況を適切に把握するための検査です。

**WISCIV 知能検査**：物事の理解や課題の解決といった認知能力や、社会性を含めた幅広い領域にわたる評価をする検査です。

## 《 児童デイサービスの利用状況 》

日ごろより鹿追町児童デイサービスにご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。令和2年4月1日現在の利用状況についてお知らせします。

サービスの種類	人数
児童発達支援（幼児）	17人
放課後等デイサービス（小学生以上）	30人
合計	47人

児童デイサービスの人数は以上のようになっています。発達支援センター利用児の8人を含めると、55人の利用を頂いております。一人ひとりの成長に寄り添いながら療育を提供していきたいと思っております。よろしくお願い致します。